

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

1. 概要

現在の経済状況は、国の経済財政政策の推進により緩やかな回復基調が続いておりますが、市民が生活をしていく上では、まだまだその実感を得られるような状況には至っておりません。

このような状況の中、新たに市から受託した「生活困窮者自立相談支援事業」の相談窓口である「くらし・しごと相談」にも多くの相談者が訪れ、厳しい経済状況を実感しております。相談件数としては、年間で1,219件の相談があり、相談者の状況に合わせた支援計画を作成する中で、寄り添いながら自立に向けた支援を進めております。

また、「第4次地域福祉活動計画」の策定に向けて、各地区で地域懇談会を2回開催するとともに、第3次計画の反省や評価検証を行い、平成28年度から5年間の活動指針となる計画を策定いたしました。

平成26年度に開設した成年後見支援センターでは、市民後見人の養成並びに育成に力を注ぎ、36名の方が個人受任に向けたスキルアップを目指し、日常生活自立支援事業の支援員として活動しております。さらに、平成28年3月には社会福祉協議会が法人として後見人となる法人後見のケースも1件受任いたしました。

以下、平成27年度に掲げた重点目標に沿って報告いたします。

(1) 地域福祉活動計画の策定

平成26年度から準備を進めてまいりました地域福祉活動計画の策定につきましては、市内26地区において地域懇談会を開催し、地域の皆様の声を計画に反映するとともに、各事業の見直しを行い、平成28年度からの5カ年計画である「第4次地域福祉活動計画」を行政計画である「地域福祉計画」と合冊で策定いたしました。

今後は、この計画に基づき事業を進めてまいります。

(2) 成年後見支援センターの運営強化と法人後見

平成26年7月に開設しました成年後見支援センターは、2年目に入り着実に実績を重ねております。相談件数につきましては月平均にしますと前年度と横ばいの状態ですが、

制度の申し立て支援につきましては、前年度の延べ15件から延べ89件と6倍近くの増加となり、成年後見支援制度の身近な相談窓口としての役割を果たしております。

市民後見人の養成に関しましても、第2回市民後見人養成研修の後期を昨年5月から7月にかけて、第3回養成研修の前期を本年1月から3月にかけて開催、第2回に関しては18名の方が修了し、第3回も16名の方が受講され、市民後見人を目指し研修を重ねております。

また、当会が法人として後見人となる法人後見人も1件受任いたしました。今後さらに受任件数増を目指していきたくと考えております。

(3) 生活困窮者自立支援事業の推進

昨年4月に施行された「生活困窮者自立支援法」における相談窓口として、「くらし・しごと相談」窓口を開設し、相談者の実情にあった支援計画を立てる中で自立に向けた支援に努めてまいりました。今後も自立に向けた就労や地域生活が送れるよう、市内企業や地域住民にも協力を仰ぎながら支援を行ってまいります。

(4) 行政との関係強化と基盤整備の推進

本会では、行政からの受託事業も多く担っていることから、本年度も関係各課との連携を図るために打ち合わせ会を定期的に行いました。また、市からの人件費補助に関しては、市の財政状況も厳しい中、社協の財政基盤を強化するため所管課と協議を行い、事業費補助方式に切り替えることといたしました。

以上、重点目標に沿ってまとめましたが、経済状況も厳しい中、今年も社協会費や寄附など多くの皆様にご支援いただきました。今後、社協に求められる役割も大きくなる中、市民の方々からのご支援はなくてはならないものだと考えております。

平成28年度は第4次地域福祉活動計画の1年目の年になります。この計画に基づき、より信頼される社協として、役職員一丸となって各種事業に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 会議開催状況

1. 理事会

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|-----------------|----------------------|---|
| 第1回 27. 4. 8 | フィレンセ西館 会議室1 | 議第1号 障害者就労支援施設吉原つくしの裁判について |
| 第2回 27. 5.22 | フィレンセ東館 ボランティアルーム | 議第2号 平成26年度事業報告について 議第3号 平成26年度一般会計決算について 議第4号 平成26年度障害者就労支援施設運営事業特別 会計決算について 議第5号 平成26年度ふれあい喫茶特別会計決算につ いて ○監事監査報告について 議第6号 平成27年度補正予算について（第1号） 議第7号 評議員の委嘱について ○成年後見等審査委員について ○福祉人材育成事業について ○生活困窮者自立支援事業の相談状況について |
| 第3回 27. 8.21 | フィレンセ東館 ボランティアルーム | 議第8号 平成27年度富士市社会福祉協議会会長表彰及 び感謝状贈呈候補者について ○平成27年度敬老会について ○社会福祉協議会会費収納状況について（中間報告） ○市民福祉まつりについて ○第4次地域福祉活動計画の進捗状況について ○福祉人材育成事業について ○吉原つくしの裁判について |
| 第4回 27.11.20 | フィレンセ東館 ボランティアルーム | 報第1号 障害者就労支援施設吉原つくしの裁判について 報第2号 平成27年度事業会計中間監査実施報告 議第9号 平成27年度補正予算について（第2号） 議第10号 東部デイサービスセンターほほえみの家及び富 士川サテライトデイサービスの廃止にかかる承認 を求めることについて ○第4次地域福祉活動計画について ○富士川地域福祉センターについて ○平成27年度歳末たすけあい運動について ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について |

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|----------------------------|------------------------------|---|
| <p>第 5 回 28. 1. 22</p> | <p>フイレンセ東館 ボランティアルーム</p> | <p>○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告）</p> <p>議第11号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について 議第12号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会事務局職員就業規則等の一部を改正する規則の制定について 議第13号 評議員の委嘱について ○赤い羽根共同募金収納状況について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について ○富士市社会福祉協議会災害対策本部及び富士市災害ボランティア支援本部開設訓練の実施について</p> |
| <p>第 6 回 28. 3. 23</p> | <p>フイレンセ東館 ボランティアルーム</p> | <p>報第 3 号 専決処分の報告について（社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定） 報第 4 号 富士川地域福祉センター建物譲受について 議第14号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室組織規程等の一部を改正する規程の制定について 議第15号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会小口資金貸付事業規程を廃止する規程の制定について 議第16号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会事務局職員就業規則等の一部を改正する規則の制定について 議第17号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会旅費規程の一部を改正する規程の制定について 議第18号 平成27年度補正予算について（第3号） 議第19号 平成28年度事業計画について 議第20号 平成28年度予算について</p> |

2. 評議員会

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|-------------------|--------------------------|---|
| 第1回 27. 5. 28 | フィナンセ西館 会議室1 | <p>議第1号 平成26年度事業報告について</p> <p>議第2号 平成26年度一般会計決算について</p> <p>議第3号 平成26年度障害者就労支援施設運営事業特別会計決算について</p> <p>議第4号 平成26年度ふれあい喫茶特別会計決算について</p> <p>○監事監査報告について</p> <p>議第5号 平成27年度補正予算について（第1号）</p> <p>議第6号 理事の選任について</p> <p>○成年後見等審査委員について</p> <p>○福祉人材育成事業について</p> <p>○生活困窮者自立支援事業の相談状況について</p> |
| 第2回 27. 11. 27 | フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室 | <p>報第1号 障害者就労支援施設吉原つくしの裁判について</p> <p>報第2号 平成27年度事業会計中間監査実施報告</p> <p>議第7号 平成27年度補正予算について（第2号）</p> <p>議第8号 東部デイサービスセンターほほえみの家及び富士川サテライトデイサービスの廃止にかかる承認を求めることについて</p> <p>○第4次地域福祉活動計画について</p> <p>○富士川地域福祉センターについて</p> <p>○平成27年度歳末たすけあい運動について</p> <p>○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について</p> <p>○社会福祉協議会会費収納状況について</p> <p>○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告）</p> |
| 第3回 28. 3. 29 | フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室 | <p>報第3号 富士市富士川地域福祉センター建物譲受について</p> <p>議第10号 平成27年度補正予算について（第3号）</p> <p>議第11号 平成28年度事業計画について</p> <p>議第12号 平成28年度予算について</p> |

3. 監査

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|-----------|-------------------|---------------------|
| 27. 5. 13 | フィレンセ東館 ふくし体験室 | ○平成26年度事業内容及び各会計監査 |
| 27. 11. 5 | フィレンセ東館 社協相談室 | ○平成27年度事業内容及び会計中間監査 |

4. 共同募金委員会

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|-----------|----------------------|--|
| 27. 8. 21 | フィレンセ東館 ボランティアルーム | ○平成27年度赤い羽根募金実施計画について ○平成27年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について |

5. 正副会長会

| | 場 所 | 会 議 事 項 |
|------------|----------------------|--------------------------------|
| 27. 5. 19 | フィレンセ東館 社協相談室 | ○第2回理事会について ○平成27年度会議日程について |
| 27. 8. 18 | フィレンセ東館 社協相談室 | ○第3回理事会について ○共同募金委員会について |
| 27. 11. 17 | フィレンセ東館 社協相談室 | ○第4回理事会について |
| 28. 1. 18 | フィレンセ東館 社協相談室 | ○第5回理事会について |
| 28. 3. 16 | フィレンセ東館 ボランティアルーム | ○第6回理事会について |

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

1. 各種広報媒体の活用

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ホームページの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員・ボランティア・モニターが出演するなど、様々な広報啓発活動を行った。

(1) 広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・ 6 / 20号 平成26年度決算及び平成27年度予算
みなさんは社協を知っていますか 他
- ・ 9 / 20号 社会福祉センターを利用してみませんか 他
- ・ 新年号 災害ボランティア支援本部 他
- ・ 3 / 20号 第4次社協地域福祉活動計画 他

広告協賛企業（敬称略）

| | |
|-------------------------|----|
| ロゼ にじいろクリニック(医療法人財団新六会) | 4回 |
| 小松クリニック(医療法人社団青葉会) | 4回 |
| はせがわ | 4回 |
| 三成設備 | 1回 |

(2) Radio-fの活用

- ・ 月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。
- ・ 災害時の連携を視野に入れた防災パートナースポットCMを毎月1回実施した。その他に、随時広報媒体として協力を求め活用をした。

(3) ウェブサイトの充実

- ・ 市民にわかりやすい福祉情報を発信するため、ウェブサイトの情報更新を随時行った。また、速報性の高い情報は社協公式ブログに掲載した。

2. 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月12日(木)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・参加人員 約500人
- ・内容 表彰式 被表彰者 44人

活動発表 「地域の居場所 コミュニティスペース りぼん」

発表者 コミュニティスペース りぼん

代表 島田圭吾 さん

講演 「知的障害者に導かれた企業経営から皆働社会実現への提言」

講師 日本理化学工業株式会社

取締役会長 大山泰弘 さん



福祉大会 表彰式



講演

3. 社協モニター制度

社協事業に対して市民各層の意見や要望を把握するとともに、社協の啓発を行い、社協の充実強化を図ることを目的にモニターを2年間委嘱し、会議への出席やモニター通信で意見の提言をお願いした。

- ・モニター会議 4回
- ・通信受付状況 34件

4. 福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

(1) 図書等の貸出

| | |
|----------|-----|
| ・福祉図書 | 37冊 |
| ・ビデオ・DVD | 7件 |
| ・カセット・CD | 7件 |

(2) 貸出利用券新規発行者数 12人

5. 「市民福祉まつり」の開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。



第35回市民福祉まつり

第35回市民福祉まつり

テーマ：であい ふれあい わかちあい ～来て 見て 遊んで 参加して！～

- ・日時 10月18日（日） 午前9時30分～午後3時
- ・場所 中央公園西側イベント広場
- ・内容
ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露
福祉部門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート
バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー
子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、みんなで楽しくふれあう場
啓発部門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信
総務部門 まつり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整
- ・主催 市民福祉まつり実行委員会

6. 市民活動団体“はじめての一步”助成金

市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉・文化・教育等の向上を図ることを目的に助成を行った。

- ・申請団体 2団体
- ・助成額 200,000円



“はじめての一步”助成金報告会

【社協会費募集】

6月を社協会費募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費の募集、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

| 区 分 | 金 額 | 実 績 額 |
|--------|---------------------|-------------|
| 普通会費 | 各世帯 300円 | 23,293,800円 |
| 特別会費 | 個人・企業・法人 1000円以上 | 6,832,392円 |
| 団体施設会費 | 福祉施設・団体 1000円以上 | 317,000円 |
| 合 計 | | 30,443,192円 |

【援護事業】

1. 援護事業

(1) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯であって、返済の見込のたたない者に5万円を限度に援護を行った。

- ・生活援護 4件 145,000円

(2) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

| | | |
|-----|----|---------|
| ・全焼 | 3件 | 90,000円 |
|-----|----|---------|

(3) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

| | | |
|-----|------|-------------|
| ・貸付 | 391件 | 41,959,404円 |
|-----|------|-------------|

<内 訳>

| | | |
|----------|------|-------------|
| 1. 高額療養費 | 237件 | 37,459,397円 |
|----------|------|-------------|

| | | |
|----------|------|------------|
| 2. 重度医療費 | 146件 | 4,228,330円 |
|----------|------|------------|

| | | |
|----------|----|----------|
| 3. 母子医療費 | 8件 | 271,677円 |
|----------|----|----------|

(4) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

| | | |
|---------|----|------------|
| ・教育支援資金 | 3件 | 1,297,000円 |
|---------|----|------------|

| | | |
|-------|----|------------|
| ・福祉資金 | 6件 | 1,141,760円 |
|-------|----|------------|

| | | |
|--------------|----|------------|
| ・総合支援資金生活支援費 | 5件 | 1,264,329円 |
|--------------|----|------------|

| | | |
|---------|-----|------------|
| ・緊急小口資金 | 14件 | 1,340,000円 |
|---------|-----|------------|

| | | |
|-----|-----|------------|
| 合 計 | 28件 | 5,043,089円 |
|-----|-----|------------|

(5) 児童援護事業

| | |
|-------------------|------------|
| ・低所得世帯小中学校入学支度費支給 | 1,876,000円 |
|-------------------|------------|

| | |
|---------------------|------------|
| ・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給 | 2,652,000円 |
|---------------------|------------|

| | |
|-------------|----------|
| ・児童遊び場設置費助成 | 100,000円 |
|-------------|----------|

| | |
|------------------|----------|
| ・交通遺児入学祝金・見舞金の支給 | 130,000円 |
|------------------|----------|

| | |
|---------------|----------|
| ・交通遺児等育英奨学金支給 | 468,000円 |
|---------------|----------|

| | |
|----------------------|---------|
| ・交通遺児等育英奨学生卒業・進級・入学祝 | 20,000円 |
|----------------------|---------|

(6) 高齢者援護事業

| | | |
|--------|-----------|-------------|
| ・敬老会助成 | 一人あたり200円 | 対象人数26,285人 |
|--------|-----------|-------------|

| | | |
|--|--|------------|
| | | 5,257,000円 |
|--|--|------------|

2. 福祉団体等援護事業

(1) 児童福祉団体

| | |
|------------------|----------|
| ・子ども会世話人連絡協議会助成 | 300,000円 |
| ・里親会助成 | 50,000円 |
| ・静岡県児童福祉施設球技大会助成 | 30,000円 |

(2) 高齢者福祉団体

| | |
|---------------|----------|
| ・悠容クラブ連合会助成 | 200,000円 |
| ・認知症の人と家族の会助成 | 100,000円 |
| ・在宅介護者家族の会助成 | 50,000円 |

(3) 障がい者福祉団体

| | |
|------------------------|----------|
| ・手をつなぐ育成会運営助成 | 300,000円 |
| ・身体障害者福祉会運営助成 | 200,000円 |
| ・視覚障害者福祉会運営助成 | 50,000円 |
| ・聴覚障害者協会運営助成 | 50,000円 |
| ・三福祉団体スポーツレクリエーション大会助成 | 30,000円 |



三福祉団体スポーツレクリエーション大会

(4) 地域活動団体

| | |
|-------------------|------------|
| ・町内会活動費助成 | 5,094,300円 |
| ・民生委員児童委員活動実費弁償費 | 424,000円 |
| ・民生委員児童委員協議会活動費助成 | 300,000円 |
| ・女性ネットワーク富士活動費助成 | 100,000円 |

(5) 権利擁護団体

・ 人権擁護委員会助成 70,000円

(6) ボランティア団体

・ ボランティア連絡会助成 300,000円

・ 災害ボランティア連絡会助成 200,000円

【地域福祉推進事業】

1. 地区福祉推進会の活動支援

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、地域の実情に応じた地域福祉活動を進めるための住民組織「地区福祉推進会」を市内26地区

(まちづくりセンター単位)で組織し、全福祉推進会に活動を支援する担当職員を配置して、その地域に必要な福祉活動について、地域の皆さんと共に協議し事業を実施した。



富士見台地区 ぼらんていあスクール



浮島地区 ふれあい交流

各地区活動状況

| 地区名 | 発足年度 | 主 な 事 業 | | |
|------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 富士南 | 昭和63年 | 地域見守り活動 | 福祉アンケート調査 | 高齢者お楽しみ会 |
| 富士見台 | 平成元年 | ぼらんていあスクール | 外国人との交歓会 | ふれあい交流会 |
| 今 泉 | 〃 | 高齢者見守り活動 | 中学生福祉体験 | 顔の見える関係づくり |
| 吉 永 | 〃 | ひ と こ え 会 | 愛の家庭訪問 | ふれあい歌声喫茶 |
| 天 間 | 平成2年 | ふれあい昼食会 | 住民福祉講座 | 七五三奉納相撲大会 |
| 須 津 | 平成3年 | ふれあい夕食サービス | ホットひといき広場 | ふれあい昼食会 |
| 岩 松 | 平成4年 | 高齢者等見守り | 福 祉 講 演 会 | 梅まつり福祉バス運行 |
| 富士駅南 | 平成6年 | 福祉フェスティバル | 住民福祉ネットワーク | ボランティアサポート |
| 丘 | 平成7年 | 三世代交流七夕まつり | 高齢者おせち配食 | 福 祉 講 座 |
| 浮 島 | 平成8年 | ふれあい交流会 | ふれあい昼食会 | 愛の声かけ訪問 |
| 原 田 | 〃 | ふれあい配食サービス | サ ロ ン 交 流 会 | 障がい者等との交流 |
| 元吉原 | 平成9年 | ふれあい配食 | 親子ふれあい交流事業 | ふれあい昼食会 |
| 鷹 岡 | 平成10年 | 三 世 代 交 流 会 | ふれあい昼食会 | 福 祉 講 演 会 |
| 伝 法 | 〃 | 中学生福祉体験 | ふれあい交流会 | ふれあい配食 |
| 富士駅北 | 〃 | ふれあいの集い | 障がい者との交流事業 | 福 祉 講 演 会 |
| 吉 原 | 平成12年 | ふれあい昼食会 | ふれあい交流会 | 絵 手 紙 慰 問 |
| 田子浦 | 〃 | ふれあい配食 | 住民福祉講座 | ふれあい昼食会 |
| 岩松北 | 平成13年 | 梅まつり福祉バス運行 | ふれあい昼食会 | 放課後子ども教室 |
| 青葉台 | 〃 | 防災グッズ配布 | うたごえサロンつぼみ | クリーン&ウォッチャー |
| 神 戸 | 〃 | ふれあい交流 | ホッとものと広場 | 神戸福祉寄席 |
| 広 見 | 平成14年 | 福祉フェスティバル | サ ロ ン 交 流 会 | ふれあい昼食会 |
| 吉永北 | 平成15年 | ふれあい配食 | ふれあい訪問 | 福 祉 研 修 会 |
| 富士北 | 平成16年 | こえかけネット | ふれあい配食会 | 福 祉 講 演 会 |
| 大 淵 | 〃 | こえかけ運動 | あいさつ運動 | ふれあい配食 |
| 富士川 | 平成21年 | 福祉委員研修会 | サロンへの支援 | セキュリティシステム |
| 松 野 | 〃 | 福祉委員研修会 | サロンへの支援 | 三 世 代 交 流 会 |

2. 地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。

また、市内を6ブロックに分けたブロック会議では、それぞれの課題や今後取り組んでいきたいテーマを基に、会議・研修会等を行った。

<正副会長会議>

5月27日(水) 平成27年度の事業について

10月22日(木) 各ブロック会議の開催状況報告

1月20日(水) 今後の地区福祉推進会について

3月24日(木) 平成28年度の事業について

平成28年度地区福祉推進会連絡会の開催について

<ブロック会議>

東部ブロック会議

8月25日(火)、2月18日(木)

サロンへの支援、認知症の人と家族の会との意見交換

中部ブロック会議

7月15日(水)、11月30日(月)

推進会事業について、認知症高齢者にやさしい地域を考える

北部ブロック会議

7月24日(金)、1月14日(木)

推進会への参画方法について、回想法講座

南部ブロック

7月23日(木)、2月18日(木)

見守りや声かけについて、高齢者を狙う詐欺から身を守ろう

北西部ブロック

7月29日(水)、1月8日(金)

認知症講演会、鷹岡地区まゆ玉づくり見学研修

西部ブロック

8月24日(月)、3月1日(火)

介護予防と居場所づくり、高齢化率等から探る福祉活動

<全体事業>

6月 4日（木） 平成27年度富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画

12月14日（月） 連絡会研修会
地域包括ケアシステムについて
第4次地域福祉活動計画の策定について



福祉推進会連絡会 研修会



北部ブロック会議 グループワーク

3. 見守り活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

・実施状況

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <今泉地区> 近隣の方（ご近所さんネット）が日常的な安否確認を実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <岩松地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生日等に訪問
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 近隣の方（こえかけ会員）が日常的なこえかけを実施

4. ふれあい・いきいきサロンの推進

日常生活の基盤である最も身近な地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びにねたきり・認知症予防を目的とした、ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだ自然なふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 157か所（3月31日現在）
- ・サロン交流会 よりよいサロン運営につながるように、情報交換や交流の場として、市内を6カ所に分けてブロック別に開催

開催日 2月18日（木） 23日（火） 25日（木）

3月 8日（火） 10日（木） 15日（火）

場 所 神戸、今泉、須津、松野、
鷹岡各まちづくりセンター
フィランセ

参加者 236人

（サロン184人、推進会52人）



ふれあい・いきいきサロン交流会

5. さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先であるヤクルトの方がひと声かけながら乳酸菌飲料を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売(株)
- ・訪問日 週3回が基本
- ・対象者 月平均 461人

6. 地域福祉活動計画策定

平成28年度から始まる第四次地域福祉活動計画の策定に向けて内容の検討を行い、あわせて地域住民の声を反映する各地区版の地域福祉活動計画の策定に向けて地域懇談会を市内全26地区において実施した。

<地域懇談会>

| | |
|------|-------------------|
| 開催時期 | 6月22日(月)～9月30日(水) |
| 開催場所 | 原則として各地区まちづくりセンター |
| 開催回数 | 各地区2回ずつ計52回 |
| 参加者数 | 計962名 |



地域懇談会（駅南地区）

【ボランティア活動の推進】

1. ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンター利用状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 開館日 | 28 | 26 | 29 | 29 | 30 | 26 | 29 | 27 | 26 | 26 | 27 | 29 | 332 |
| 利用者数 | 559 | 454 | 640 | 453 | 463 | 495 | 659 | 531 | 638 | 491 | 656 | 791 | 6,830 |
| 1日平均 | 20.0 | 17.5 | 22.1 | 15.6 | 15.4 | 19.0 | 22.7 | 19.7 | 24.5 | 18.9 | 24.3 | 27.3 | 20.6 |

・ボランティアに関する相談 57件

(2) 需給調整

- ・ボランティア活動依頼 209件
- ・ボランティア対応 192件（延べ 694人）

(3) ボランティア保険の普及

- ・加入者数 3,534人

(4) 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

- ・毎月第1金曜日 定例会開催
- ・加入団体 41団体 477人

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

・加入団体 12団体

| | |
|-------------------|--------------------|
| 富士市災害救援バイク隊『ペガサス』 | 静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部 |
| 富士市アマチュア無線非常通信協力会 | 災害ボランティアコーディネーター富士 |
| 富士市ボランティア連絡会 | 富士R B |
| 富士市まとい会 | 静岡県看護協会富士地区支部 |
| 百歩の会 | 富士市赤十字奉仕団 |
| 家具やしめ隊 | 常葉大学ハルジオン |

・災害ボランティア支援本部開設訓練

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 開催日 | 1月30日(土) 13:00 ~ 15:30 (準備訓練) |
| | 31日(日) 7:30 ~ 12:00 (ボランティア受入訓練他) |
| 場所 | 富士市フィランセ、富士市富士川ふれあいホール ほか |
| 内容 | 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示 ほか |
| 参加者 | スタッフ 158名、一般参加者 329名 |



災害ボランティア支援本部開設訓練

(6) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携および協力していくため、事業所訪問を行い今後の活動や連携について話し合いの場を設けた。

訪問件数 1件

2. ボランティア育成事業

ボランティアニーズの多様化に伴い、これからボランティアを始めようとする人たちにボランティアの基本を身につけていただくと共に、現在ボランティア活動をしている人にボランティアについての認識を深めてもらうために、各種講座や研修会を開催した。

(1) ボランティア講座

ボランティア活動の未経験者や既にボランティア活動をされている方々を対象に、自分の行動や活動を振り返り、ボランティアに対する新たな気づきを促すことを目的に開催した。

・開催日 8月22日（土） 10:00～12:00

・内容 講演 『ほっとかれへん』で動き出す

～ボランティアをはじめた気持ち～

講師 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 梅田 純平 氏

・参加者 91人

(2) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

・開催日 7月29日（水） 10:00～12:00

8月 5日（水） 10:00～12:00

・内容 子どもとの接し方や遊び方、託児ボランティアとの交流会、託児ボランティアの必要性、ボランティア活動について、託児ニーズの紹介

・参加者 10人

(3) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアを養成するための講座を開催した。（全8課）

・開催日 1月12日、19日、26日、2月2日、9日

2月10日～22日のうち1日実習

2月23日、3月1日

各日とも火曜日 9:00～12:00（実習日を除く）

・内容 音訳基礎技術を身につけるための実技、リスナーとの懇談

・参加者 15人（全参加者が修了）

(4) 家具固定ボランティア講座

家具固定に必要な知識を学ぶとともに、ひとり暮らし高齢者など自分では家具の固定ができない方々への支援を目的に講座を開催した。

- ・開催日 3月11日(金) 18日(金) 25日(金) (全3回)
19:00～21:00
- ・内容 家具固定の必要性、家具固定方法の講義と実技
- ・参加者 20人(うち修了者17人)

(5) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴の技術を身に付けることで、地域や身近な場所で相手の声に耳を傾ける方や様々なボランティア活動の場で傾聴技術を役立てていただく方を増やしていくことを目的に講座を開催した。

- ・開催日 9月12日(土) 19日(土)
10月4日(日) 11日(日) 24日(土) (全5回)
1回目～5回目 9:00～12:00
- ・内容 傾聴に関する講義と傾聴技術を学ぶための実技
- ・参加者 33人(うち修了者29人)

(6) 移送ボランティア研修会

移送ボランティア向けに、事業説明及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

- ・開催日 6月27日(土) 7月4日(土) 各9:00～12:00
- ・内容 中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
- ・参加者 14人(移送ボランティア登録者)

(7) 音訳ボランティア懇談会

音訳ボランティアグループ間の情報交換と交流を目的に開催した。

- ・開催日 3月18日(金) 10:00～11:30
- ・内容 日頃の音訳活動について 等
- ・参加者 7人(やまびこ5日号、C3PO、秋桜、すみれ)



家具固定ボランティア講座



音訳ボランティア養成講座

3. 障害児（者）サービス事業

(1) 移送サービス事業

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

| | |
|---------------|-------------|
| ・利用件数 | 4 4 1 件 |
| ・走行距離 | 8, 7 2 8 km |
| ・利用登録者数 | 4 0 人 |
| ・移送ボランティア登録者数 | 4 7 人 |
| ・延べ活動者数 | 1, 0 0 6 人 |

(2) 移送車両貸出事業

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

| | |
|-------|-------|
| ・貸出件数 | 4 1 件 |
|-------|-------|

(3) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

| | | |
|-------|-------------------------|-----------------------|
| ・開館日 | 火・木・土曜日 | 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 |
| | 日曜日 | 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 |
| | | 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 |
| ・協力団体 | ふじおもちゃ図書館ボランティア | 4 2 人 |
| ・会 場 | ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階） | |

利用状況

単位：人

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者数 | 437 | 416 | 589 | 615 | 506 | 486 | 491 | 550 | 328 | 429 | 339 | 457 | 5,643 |



おもちゃ図書館クリスマス会

(貸し館)

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者数 | 393 | 240 | 278 | 398 | 453 | 409 | 394 | 245 | 433 | 370 | 352 | 462 | 4,427 |

(4) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

- ・利用者 34人
- ・協力団体 5団体（やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜）

【福祉教育の推進】

1. 福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材を長期的な視点で育成することを目指し、子どもから大人までを対象に、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 4月30日（木）、5月26日（火）、6月25日（木）
7月22日（水）、10月21日（水）、12月9日（水）
2月10日（水） 全7回
- ・参加者 9人（内、事務局3人）

<アンケート>

- ・内 容 「福祉」に対してどのようなイメージを抱いているのか？また、職場定着をしている人はなぜ長く続けていられたのか？などの実情を把握する事を目的としてアンケート調査を実施し、生の声の分析を行った。
- ・対象者 小学校3校、中学校3校、高校5校、大学1校、従事者
(合計 1,396人)

<研修会>

- ・開催日 12月19日（土）9：00～12：00
- ・会 場 富士市フィランセ西館4階大ホール
- ・内 容 法人の「らしさ」を明らかにし採用力アップへ！
～講義・個人研究・グループワークを通じて～
- ・講 師 門野友彦氏（らしさ研究所 所長）
- ・対象者 施設長・採用担当者及びそれに準ずる職員
- ・参加者 51人



福祉人材育成事業 研修会

2. 夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月8日（土）9：00～12：00
- ・会場 富士市フィランセ3階
- ・内容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 225人（来場者 165人 ボランティア 60人）

3. 出前福祉体験（車いす、アイマスク等）や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等において出張し、体験学習や福祉に関する講話等を行った。

13件 市内小中学校・高校等にて

4. 富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、いかに地域と連携し、福祉の総合学習を通してどのような学びを得られたのかを共有し合い、各校における福祉教育の推進に資することを目的に連絡会を開催した。

- ・開催日 6月15日（月）15：15～16：30
- ・内容 講演「みんなで考え、つくりあげる福祉教育」
グループワーク
- ・参加者 22人

5. 福祉体験機材の貸し出し

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

| | 車いす | アイマスク 白杖 | シニア | 右マヒ | 点字盤 | ボッチャ | 車いす サッカーボール |
|----|-----|-------------|-----|-----|-----|------|----------------|
| 個数 | 229 | 353 | 238 | 76 | 201 | 7 | 0 |
| 回数 | 32 | 24 | 28 | 7 | 11 | 6 | 0 |

| | | |
|----|-----|----|
| 内訳 | 学 校 | 18 |
| | 地 区 | 27 |
| | 施 設 | 7 |
| | その他 | 12 |

6. 富士市教育委員会初任者研修への協力

富士市教育委員会主催による平成26年度新規採用教員を対象とした「福祉体験講座」において講師及び体験指導を行った。

- ・開催日 1日目 11月12日（木） 9：00～16：10
 2日目 11月19日（木） 9：30～16：20
- ・内 容 福祉講話、車いす体験、アイマスク体験、グループ協議及び発表
- ・参加者 29人

7. キッズジョブ2015への協力

ふじさんめっせ主催による子どもたちに職業体験をさせるイベントへの協力依頼を受けて、介護サービス室との連携で実施した。

- ・開催日 8月22日（土） 23日（日）10：00～16：00
- ・会場 富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ大展示場
- ・実施内容 ホームヘルパーの仕事体験（体位変換、入浴車への移動）
 電動車いすの展示及び体験
- ・体験者 1日目 173名 2日目 170名

【相談事業】

1. 福祉相談室の運営

フィランセ東館1階に就労総合支援センターが開設されたことに伴い、従来の福祉相談事業と併せた総合的なサービスを市民に提供するため、相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 1,058件

<内訳> 来所相談 181件
電話相談 877件
その他 0件

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 相談件数 | 162 | 134 | 110 | 95 | 97 | 78 | 72 | 64 | 59 | 49 | 64 | 74 | 1,058 |

| 相談内容 | 件数 |
|--------------|-------|
| 福祉制度等の利用相談 | 7 |
| 福祉サービス等の利用相談 | 5 |
| 自立生活についての相談 | 100 |
| 家庭生活についての相談 | 148 |
| 教育に関する相談 | 17 |
| 就労に関する相談 | 47 |
| 医療・健康に関する相談 | 29 |
| 虐待に関する相談 | 1 |
| その他 | 711 |
| 合計 | 1,065 |

※重複回答あり

2. 結婚相談

6名の相談員が毎週水曜日及び毎月第2、第4日曜日に社協相談室において結婚に関する相談に応じた。その概要は次のとおり。

・相談件数 4,632件

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 開催日数 | 6 | 5 | 6 | 8 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 74 |
| 相談件数 | 392 | 414 | 403 | 430 | 383 | 385 | 409 | 365 | 343 | 404 | 356 | 348 | 4,632 |

・新規登録件数 192 件

・男性

| 年齢 | 20～24 | 25～29 | 30～34 | 35～39 | 40～49 | 50以上 | 計 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|
| 計 | 1 | 13 | 25 | 33 | 43 | 12 | 127 |

・女性

| 年齢 | 20～24 | 25～29 | 30～34 | 35～39 | 40～49 | 50以上 | 計 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 計 | 2 | 16 | 20 | 11 | 11 | 5 | 65 |

・引き合わせ件数 254組

・成立件数 13組

・特設相談状況

「出会いふれあいパーティー」 2回開催 79人 参加

「女性のための結婚相談」 2回開催 4人 来所

3. 生活困窮者自立相談支援事業の実施

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、フィランセ東館1階に生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設。3名の相談員を配置し相談者の抱えている問題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。

また、関係機関や事業所と連携をとり積極的なアウトリーチを行い、ニーズ把握と併せて市民や関係機関への事業の周知徹底を図った。

<相談状況>

相談件数 1,219件

<内訳> 男性 826件 来所 407件

女性 393件 電話 678件

メール 7件

訪問 98件

同行 29件

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 相談者数 | 29 | 23 | 36 | 39 | 40 | 34 | 38 | 43 | 46 | 53 | 54 | 53 | 488 |
| 新規相談者数 | 29 | 21 | 31 | 28 | 15 | 16 | 25 | 13 | 11 | 12 | 17 | 18 | 236 |

| 相談内容 | 件数 |
|-----------------|-------|
| 病気や健康、障害のこと | 30 |
| 家賃やローンの支払いのこと | 35 |
| 仕事探し、就職について | 479 |
| 家族との関係について | 21 |
| ひきこもり・不登校 | 3 |
| 住まいについて | 50 |
| 税金や公共料金等の支払について | 29 |
| 仕事上の不安やトラブル | 16 |
| 子育てのこと | 2 |
| DV・虐待のこと | 1 |
| 収入・生活費のこと | 184 |
| 債務について | 4 |
| 地域との関係について | 3 |
| 食べるものがない | 83 |
| その他 | 279 |
| 合計 | 1,219 |

| 支援内容 | 件数 |
|---------|-------|
| 食料支援 | 96 |
| 住居確保給付金 | 4 |
| 一時生活支援 | 16 |
| 福祉資金貸付 | 44 |
| 就労支援 | 177 |
| 就労準備支援 | 38 |
| 生活保護 | 34 |
| 緊急援護費支給 | 4 |
| 他法紹介 | 115 |
| 相談のみ | 691 |
| 合計 | 1,219 |



暮らし・しごと相談窓口

【在宅福祉サービス事業】

1. 日常生活自立支援事業

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

| 区 分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 合計 |
|-------|--------|-------|-------|-----|-------|
| 相談件数 | 43 | 29 | 14 | 22 | 108 |
| 契約件数 | 12 | 31 | 14 | 13 | 70 |
| 契約者支援 | 953 | 1,915 | 1,807 | 897 | 5,572 |

2. 成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として設立された成年後見支援センターで市民等の相談を受けた。

相談件数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 相談件数 | 13 | 11 | 16 | 17 | 15 | 11 | 25 | 18 | 17 | 11 | 13 | 26 | 193 |

3. 市民後見推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住みなれた地域で権利や利益が守られ、安心して生活できるようにするため、成年後見制度の担い手として市民後見人の養成を目的に研修会を開催した。

<第2回市民後見人養成研修（実務研修）>

- ・開催日 5月23日（土）～7月25日（土） 延べ5日間21時間
- ・内 容 実務研修を実施
- ・受講者 18人

<市民後見人候補者選考会議>

- ・開催日 8月17日（月）
- ・内 容 市民後見人養成研修修了者へ、活動への意欲や適性確認のため面接選考の上で、候補者を名簿登録
- ・登録者 上記養成研修修了者18名

<市民後見人候補者継続研修>

市民後見人候補者の第1回修了者18名と第2回修了者18名が日常生活自立支援事業の支援員として、引き続き研鑽を積んで行くこととなり、そのフォローアップ、モチベーションの維持のために継続研修を開催した。

- ・開催日 2ヶ月に1回（全6回）
- ・内 容 成年後見支援センターについて、介護保険について、障害者支援について、支援員活動について、活動振り返り、世田谷区民後見人からの講義、事例検討等

<第3回市民後見人養成研修説明会>

- ・日 時 11月14日（土）
- ・内 容 市の市民後見人養成、活動支援及び市民後見人養成募集要項の説明
- ・参加者 20名

<第3回市民後見人養成研修（基礎研修）>

- ・期 間 1月23日（土）～3月12日（土）
- ・内 容 延べ5日間20時間の基礎研修を開催
- ・受講者 16名

<成年後見制度講演会>

- ・日 時 10月21日(水)
- ・講 師 ふるい後見事務所 古井慶治氏
- ・内 容 一般市民向け成年後見制度普及啓発講演会
- ・参加者 141名



成年後見制度講演会

4. 法人後見事業

<成年後見等審査委員会>

- ・日 時 12月9日(水)

<法人後見人受任>

家庭裁判所、後見人と協議を重ね、市民後見を見据えた法人後見人を1件受任した。

5. 福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器を譲りたい方
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費 用 無料(運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担)
- ・物 品 福祉機器・介護用品(直接身体に触れる物品は未使用のもの)
- ・実 績 譲ります情報 29件 求めます情報 66件
成立状況 25件

6. 家族介護者交流事業

在宅において、ねたきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

＜介護おしゃべりカフェ＞

| | | | |
|-----|------------------|-----|-----|
| 第1回 | 10月3日(土) | | |
| | 「音楽で癒されよう」 | 参加者 | 17名 |
| 第2回 | 11月21日(土) | | |
| | 「暮らしに役立つ介護機器の紹介」 | 参加者 | 16名 |
| 第3回 | 12月6日(日) | | |
| | 「心温まるタッチセラピー」 | 参加者 | 15名 |
| 第4回 | 1月24日(日) | | |
| | 「座ってできる軽体操」 | 参加者 | 16名 |

(計4回)

7. 車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(病2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|
| 貸出件数 | 11 | 19 | 16 | 13 | 20 | 19 | 23 | 17 | 23 | 5 | 16 | 18 | 200 |

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

1. 社会福祉センター利用実績

| 項目 | 広見荘 | 田子浦荘 | 東部市民プラザ | 鷹岡市民プラザ | 合計 |
|----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 高齢者 | 41,886人 | 35,910人 | 32,333人 | 22,633人 | 132,762人 |
| 障がい者 | 451人 | 77人 | 478人 | 21人 | 1,027人 |
| 児童 | 394人 | 130人 | 120人 | 135人 | 779人 |
| その他 | 249人 | 95人 | 3,367人 | 18,692人 | 22,403人 |
| 合計 | 42,980人 | 36,212人 | 36,298人 | 41,481人 | 156,971人 |
| 開館日数 | 282日 | 282日 | 282日 | 282日 | 282日 |
| 1日平均利用者数 | 152人 | 128人 | 129人 | 147人 | 557人 |

【生きがいデイサービス事業】

閉じこもりがちな高齢者を対象にレクリエーションや健康体操、創作活動などを行い介護予防を図ると共に、孤独感の解消を図った。

- ・実施場所 健康クラブ (広見荘 毎週火・木・土)
元気クラブ (田子浦荘 毎週火・木・土)
あったかクラブ (鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土)
うららかクラブ (富士川地域福祉センター 毎週火・水・木)
- ・開所日数 健康クラブ 1 4 5 日
元気クラブ 1 4 5 日
あったかクラブ 1 4 5 日
うららかクラブ 1 4 6 日
- ・延利用者数 健康クラブ 1, 7 4 9 人
元気クラブ 2, 0 3 3 人
あったかクラブ 1, 6 1 7 人
うららかクラブ 1, 9 7 3 人



元気クラブ

【介護保険事業】

1. 居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3, 2 2 4 人 (要支援… 6 8 6 人 要介護… 2, 5 3 8 人)
- ・利用者内訳 要支援 1 … 1 9 9 人(6.2%) 要支援 2 … 4 8 7 人(15.1%)
要介護 1 … 8 5 1 人(26.4%) 要介護 2 … 7 6 5 人(23.7%)
要介護 3 … 4 7 5 人(14.7%) 要介護 4 … 2 6 1 人 (8.1%)
要介護 5 … 1 8 6 人(5.8%)
- ・介護認定調査 1 5 5 件 (富士市… 1 0 6 件 富士市以外… 2 7 件 県外… 2 2 件)

2. 訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 10,301回（要支援…908回 要介護…9,393回）
- ・利用者内訳 要支援1…141回(1.4%) 要支援2…767回(7.4%)
要介護1…1,650回(16.0%) 要介護2…1,977回(19.2%)
要介護3…2,471回(24.0%) 要介護4…1,185回(11.5%)
要介護5…2,110回(20.5%)

3. 訪問入浴介護事業

- ・利用者延べ人数 342人
- ・利用者内訳 要介護2…22人(6.4%) 要介護3…142人(41.5%)
要介護4…40人(11.7%) 要介護5…138人(40.4%)

4. 通所介護事業

(1) 東部デイサービスセンターほほえみの家

- ・開所日数 280日
- ・利用者延べ人数 1,838人（要支援…86人 要介護…1,752人）
- ・利用者内訳 要支援2…86人(7.6%) 要介護1…281人(15.3%)
要介護2…790人(43.0%) 要介護3…374人(20.3%)
要介護4…276人(15.0%) 要介護5…31人(1.7%)

(2) 富士川デイサービスセンター

- ・開所日数 310日
- ・利用延べ人数 10,197人（要支援…648人 要介護…9,549人）
- ・利用者内訳 要支援1…9人(0.1%) 要支援2…639人(6.3%)
要介護1…3,587人(35.2%) 要介護2…3,186人(31.2%)
要介護3…1,402人(13.7%) 要介護4…621人(6.1%)
要介護5…753人(7.4%)

(3) 富士川サテライトデイサービス

- ・開所日数 310日
- ・利用延べ人数 2,434人（要支援…172人 要介護…2,262人）
- ・利用者内訳 要支援1…95人(3.9%) 要支援2…77人(3.2%)
要介護1…1,584人(65.1%) 要介護2…187人(7.7%)
要介護3…306人(12.6%) 要介護4…185人(7.6%)



富士川地域福祉センター

5. 生活支援型ヘルパー派遣事業（市受託事業）

- ・利用者 1人
- ・派遣回数 31回
- ・延派遣時間数 31時間

【障害福祉サービス事業】

1. 居宅介護

- ・利用者数 28人
- ・延派遣回数 3,767回
- ・延派遣時間数 4,374時間35分

2. 同行援護

- ・利用者数 20人
- ・延派遣回数 927回
- ・延派遣時間数 3,345時間15分

3. 移動支援

- ・利用者数 6人
- ・延派遣回数 238回
- ・延派遣時間数 318時間10分

4. 訪問入浴（身体障害者）

- ・利用者数 4人
- ・延派遣回数 221回

【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者への知識及び能力等の向上の為に必要な訓練や創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。

| | | | | | | |
|-------|------|-----|---------|-----|-----|-------------|
| 利用者人数 | 148名 | 男性 | 80名 | 女性 | 68名 | ※3月31日現在 |
| 平均年齢 | 38歳 | 最高齢 | 68歳 | 最年少 | 19歳 | ※3月31日現在 |
| 月平均工賃 | | | 14,678円 | | | |
| | 最高 | | 40,740円 | | | |
| | 最低 | | 4,674円 | | | (生活介護以外の施設) |

単独型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所） *利用者数は3月31日現在

| 事業所名 | 開設年月日 | 利用者数 | 主な自主製品等 |
|---------------|------------------|------|-----------------------------|
| 竹の子 | S63.4.1 | 20人 | 手作り石けん ビーズ製品 |
| ひめな | H8.10.1 | 13人 | 縫製品 しいたけっ粉販売 |
| ふれあいショップ あゆみ・ | <あゆみ> H1.10.1 | 10人 | 手作りパン ラスク各種 |
| ふじひろみ | <ひろみ> S53.6.1 | 11人 | ぼかし 縫製品 |
| 市民ふれあいバンク | S58.8.1 | 18人 | 手作り石けん リサイクル品回収 販売 |
| 鷹身工芸社 | S59.8.1 | 18人 | トールペイント 花の苗作り ぼかし、縫製品 |
| ふじばら作業所 | H1.4.1 | 18人 | ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品 |

多機能型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所及び指定生活介護事業所又は指定就労移行支援事業所）

| 事業所名 | 開設年月日 | 利用者数 | 主な自主製品等 |
|--------|---|---|---------------------------------|
| 吉原つくし | <継続> S55. 4. 7 <生活介護> H23. 5. 10 | 計 27 人 <継続> 19 人 <生活介護> 8 人 | 手染め製品 手織りマフラー 名刺印刷 しおり |
| まつぼっくり | H13. 4. 1 | 計 13 人 <移行> 1 人 <継続> 12 人 | 手作り洋菓子 （クッキー等） BDF精製・販売 |

・障害者就労支援施設・生活介護事業所職員研修

| | | |
|----------|-----------|-----|
| (1) 全体研修 | 6月26日（金） | 52人 |
| | 10月20日（火） | 50人 |
| | 11月12日（木） | 51人 |
| | 12月18日（金） | 54人 |
| | 1月14日（木） | 54人 |
| | 2月25日（木） | 53人 |

【特定相談支援事業】

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用するためのサービス等利用計画作成を始めとした相談支援事業を実施した。

| | |
|---------------------------|------|
| ・サービス等利用計画契約者人数 | 180人 |
| 内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者 | 147人 |
| その他（社協居宅介護利用者・特別支援学校生徒等） | 33人 |

【共同募金運動】

1. 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、平成26年度は下記のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

・実施期間 10月1日 ～ 12月31日

・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

| 区 分 | 目 標 額 | 実 績 額 |
|---------|-------------|-------------|
| 町 内 募 金 | 14,700,000円 | 14,662,556円 |
| 篤志・法人募金 | 7,500,000円 | 6,675,780円 |
| 街 頭 募 金 | 1,700,000円 | 1,602,038円 |
| 合 計 | 23,900,000円 | 22,940,374円 |

2. 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

(1) 配分結果

・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

| | | |
|-------------|--------|-------------|
| 479世帯 | 1,258人 | 7,781,000円 |
| ねたきり | 21人 | 認知症 8人 |
| 重度心身障がい児(者) | 59人 | 両親のいない児童 7人 |

・福祉施設利用者

| | | |
|------|-----|----------|
| 15カ所 | 77人 | 620,000円 |
|------|-----|----------|

合 計 8,401,000円

(2) 募金結果

| | |
|---------|------------|
| ・会社職域関係 | 687,344円 |
| ・団体関係 | 702,295円 |
| ・学校関係 | 125,278円 |
| ・個人 | 134,610円 |
| ・たすけあい袋 | 8,334,927円 |
| 合 計 | 9,984,454円 |



赤い羽根共同募金運動(街頭募金)



歳末たすけあい運動

【実習受入れ】

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を実施した。

- ・実習受入数 26人
- （内訳）社会福祉援助技術実習 2人
- 介護職員初任者実習 4人
- 知的障害者介護体験実習 1人
- 看護師実習 16人
- 介護支援員専門員実習 2人
- 教員初任者研修 1人

【視察受入れ】

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

- ・視察等受入 5件
- 7月 6日（月） 沼津市社協 「成年後見支援センター」視察
- 7月31日（金） 富士宮市社協 「成年後見支援センター」視察
- 11月17日（火） 三島市社協 「成年後見支援センター」視察
- 12月22日（火） 富士市議会議員 「成年後見支援センター」勉強会
- 2月12日（金） 県交歓留学生 「成年後見支援センター」視察
- ・市公共施設見学受入 2件

【社協災害対策本部開設訓練】

非常時に社協職員として防災マニュアルに沿った対応がいち早くできるよう、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と平行して訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを模索した。

- ・実施日 1月30日（土）、31日（日）
- ・参加の範囲 社協事務局、介護・障害サービス事業所、福祉センター職員
- ・内 容 職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、
出先機関の被害状況確認と職員配置シミュレーション、
富士市との情報交換(MCA無線)、社協ブログへ情報発信、交信

【富士市介護保険事業者連絡協議会の支援】

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

【団体事務支援】

団体の活動がスムーズに運営できるよう側面的に支援を行った。

- (1) 富士市身体障害者福祉会
- (2) 富士市単親家庭の会
- (3) 富士市在宅介護者家族の会
- (4) 富士市民生委員児童委員互助会

【自動販売機設置・弁当等販売】

施設利用者等の便を図るため、フィランセ館内等に自動販売機を設置し、併せて弁当等の販売を行った。

- ・自動販売機設置 フィランセ 5台、広見荘 1台 ※3月31日現在
- ・弁当等販売 97件